

第4回 看護師(特別支援学校)スキルアップ講習会のご案内

特別支援学校では、医療的ケアの必要な児童生徒が、年々、増加しています。そのような状況の中で、安心・安全な医療的ケアが、看護師などの実施によって、整備充実してきています。更なる充実のためには、医療的ケアに関する知識・技能等の専門性を高める研修の機会が必要です。このことに鑑み、下記のスキルアップ講習会を企画いたしました。ご参加のほど、ご案内申し上げます。

- 1 日時 平成22年8月2日(月)～3日(火)
- 2 会場 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟 102
最寄駅 小田急線参宮橋駅下車 徒歩7分 東京メトロ代々木公園4番出口 徒歩10分
場所(地図)は、オリンピックセンター(通称)のホームページをご覧ください。
- 3 主催 特定非営利活動法人 地域ケアさぼーと研究所
- 4 後援 全国特別支援学校長会 社団法人 日本看護協会
- 5 参加費 資料代等 2000円 (当日会場でお支払いください。)
- 6 定員 130名 対象は特別支援学校の看護師
- 7 内容

8月2日(月) センター棟 102

- | | | | | |
|-------------|---------|---------------------------------|----------------------------|--------|
| 10:00～10:05 | あいさつ | 地域ケアさぼーと研究所 | 理事長 | 飯野 順子 |
| 10:05～11:00 | 講演1 | 「子どもの心に寄り添う医療的ケアを ～歴史的経過を踏まえて～」 | 地域ケアさぼーと研究所理事長(元都立村山養護学校長) | 飯野 順子 |
| 11:00～11:10 | (休憩) | | | |
| 11:10～12:10 | 講演2 | 「親の立場から看護師に望むこと」 | 東京福祉大学・大学院短期大学教授 | 小林 保子 |
| 12:10～13:30 | (昼食・休憩) | | | |
| 13:30～15:00 | 講演3 | 「医療的ケアの必要な子どもの『医療』に関すること」 | 宮城県拓桃医療療育センター 小児科 | 田中 総一郎 |
| 15:00～15:10 | (休憩) | | | |
| 15:10～15:40 | 実践報告 1 | 茨城県立下妻養護学校 | 看護師 | 大磯 佐誉子 |
| 15:40～16:10 | 実践報告 2 | 千葉県立船橋特別支援学校 | 看護師 | 三上 利津子 |
| 16:10～16:30 | まとめ | | | |

8月3日(火)

2日目は、下記のコースを選択してください。各コースとも定員は50名、先着順です。

【コース1】 呼吸障害への対応 (定員 50名) センター棟401

呼吸障害に関する知識を高め、排痰を円滑にするための支援についての理解と技能を深めます。

- | | | | | |
|-------------|---------|---------------------|---|----------------|
| 10:00～12:00 | 講義 | 「呼吸障害への対応」 | 豊田市こども発達センター 小児神経科 | 三浦 清邦 |
| 12:00～13:00 | (昼食・休憩) | | | |
| 13:00～16:00 | 実技・演習 | 「重度障害児の円滑な排痰の具体的支援」 | 横浜療育医療センター 理学療法士 心身障害児総合医療療育センター 理学療法士 | 花井 丈夫 直井富美子 |
| 15:00～16:10 | まとめ | | | |
- ◆服装・持ち物 実技ができる服装、バスタオルを持参ください。

【コース2】 摂食・嚥下障害への対応 (定員50名) センター棟102

摂食・嚥下障害に関する知識を深め、障害の重い子どもの食べることの困難さを理解するとともに円滑な経管栄養についての技能を高めます。

- 10:00～12:00 講義 「摂食・嚥下障害への対応」
東京小児療育病院 小児科 舟橋 満寿子
- 12:00～13:00 (昼食・休憩)
- 13:00～16:00 実技・演習
「嚥下困難な子どもへの対応」 東京都立府中特別支援学校教諭 白鳥 芳子
新宿区立新宿養護学校主幹教諭 阿部 晴美
「経管栄養の実際とそのポイント」
東京小児療育病院 重症心身障害児通所施設 通園看護係長 長田 幸枝
- 16:00～16:10 まとめ

◆持ち物 タオル スプーン (大・小1個ずつ) 透明のコップ

【コース3】 筋緊張や身体の変形への対応 (定員50名) センター棟402

医療的ケアの必要な子どもの中には、身体の緊張や変形などがある子どもが多く見られます。たんの吸引や経管栄養の際には、このような子どもへの対応が必要とされています。コース3では、筋緊張等への対応についての知識や技能を学びます。

- 10:00～12:00 講義 「筋緊張や身体の変形などへの対応」
東京農業大学農学部バイオセラピー学科教授
心身障害児総合医療療育センター 整形外科 柳迫 康夫
- 12:00～13:00 (昼食・休憩)
- 13:00～16:00 実技・演習 「重度障害児のハンドリングとポジショニング」
東京都立府中療育センター 理学療法士 成澤 修
- 16:00～16:10 まとめ

◆服装・持ち物 実技ができる服装、バスタオルを持参ください。

8 申込み方法

(1) はがき (往復はがき) 又はメールで、下記に申し込んでください。かならず、返信します。2日間の参加が原則です。なお、コースにつきましては、先着順に受け付けますが、来年度以降もこのパターンで研修を行いますので、その点を考慮して、申し込んで下さい。

(2) 記載事項

①氏名 ②所属 ③連絡先住所 ④電話 (自宅又は所属先) ⑤第2日目のコース

※往復はがきの場合は、「返信」面に、ご自身の住所・氏名を書いてください。

(3) 申し込み締め切りは、7月24日 (土) です。

(4) 宛先 はがきの場合 203-0054 東京都東久留米市中央町2-1-82 飯野 順子
メールの場合 NBK10659@nifty.com 飯野 順子
(半角大文字)

【問合わせ先】 飯野順子 FAX 042-476-6925 メール NBK10659@nifty.com